「若者・女性部会（仮称）」の設置（案）について

1 背景

- 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン及び第2期岩手県ふるさと振興総合戦略については、令和8年度が計画期間の終期であることから、今後、次期プラン等の検討を進めていく必要がある。
- 検討に当たっては、若者・女性からより一層「選ばれる岩手」を実現するプラン等とするために、若者や女性の参画を確保し、当事者の視点を取り入れることが重要。
- なお、国においても、「地方創生2.0基本構想」（R7.6.13閣議決定）において、地方版総合戦略の検証・見直しに当たっては、地域の若者や女性を巻き込んで議論を進めることが重要であるとしているところ。

【参考】国の「地方創生2.0基本構想」（抜粋）

5. 今後の進め方

地方においては、地方創生2.0を推進する取組に早期に着手するとともに、地方版総合戦略の検証及び見直しに取り組むことが求められる。本基本構想を踏まえ、当面の人口減少を正面から受け止めつつ、地域の多様なステークホルダーや、地域の若者や女性を巻き込んで主体的な検証・見直しを行うことが重要である。地方版総合戦略の議論の場には、各地方公共団体の若者や女性それぞれの人口比並みに、若者や女性の参画の確保に努めることが重要である。〔略〕

2 対応案（「若者・女性部会（仮称）」の設置）

- 岩手県総合計画審議会に、「若者・女性部会（仮称）」を設置。
（令和7年11月開催予定の第110回総計審において、改めて御意見をお伺いする予定）
- 「若者・女性部会（仮称）」では、本県の現状や課題、今後の取組の基本的な方向性等について議論をいただく。
- 得られた意見は総計審に報告し、県政の総合的な計画の策定及び推進に関する重要事項に関する審議等に活かしていく。

※ その他の詳細については、第110回総計審において御説明を予定。